



## ノルウェーの図書館コンサート

私はサウンドエンジニア兼ミュージシャンです。ベルリンに滞在して音楽活動をしていた時期に、ノルウェーの首都オスロの図書館で行われたコンサートに招聘され、演奏しました。ヨーロッパを中心に世界各国から集まった何組かのアーティスト達が出演する、小規模フェスティバルのようなコンサートでした。これらはその時に撮ったリハーサルなどのスナップ写真です。

特徴的だったのは、それがコンサート用のホールや会議室のような部屋で行われていたのではなく、本棚が並んでいる開架書架フロアで行われていた事でした。

そのフロアにあった大きな本棚の一部は人力で移動できるように作られています。主催者側のスタッフさん達が、それらを自由にレイアウトし、レンタルされた音響機材を持ち込んで会場を作っていました。演奏者と観客の距離も近く、気軽に話し合える環境でした。

また、翌日の朝まで長時間演奏されるスリープコンサートも行われました。写真の通りフロアにマットを敷いて、観客がそこで寝ながらコンサートを聴ける様にしていました。

一泊だけとはいえ、他の出演者や観客達と睡眠を共有する事で、親密感も得る事が出来ました。

私自身、今までの人生で図書館に宿泊したのはこの時だけです。不思議な体験でした。



このコンサート企画の運営について詳細は知りませんが、政府あるいは自治体からの助成金によって定期的に開催されていたようです。非常に面白い取り組みだと思いました。

「これが図書館である必要性があるのか？」という点に特にはそうではないのかもしれません。

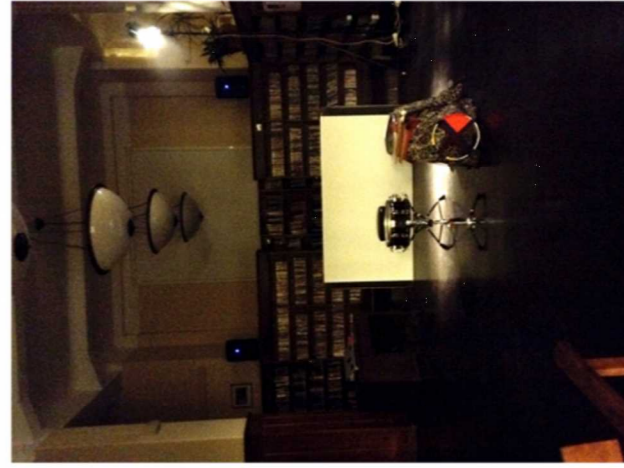
ただ、図書館という特殊な空間で行う事の面白みはあったと思います。音楽を持ち込む事で、人と人が出会う場として図書館が機能していました。もちろん、コンサートの合間に目についた本を読む事も出来ますし・・・

仮に、蔵書のすべてがデジタル化されて本を借りにゆく必要性がなくなったとしても、例えばこの様な形で、図書館は地域文化の活性化を牽引してゆくのではないかと考えます。

地球環境の現状から考えると、確かに今後100年の内に何度かパンデミックが訪れる可能性があると思います。ですが、パンデミックのない時期も当然あるはずですが、

寒い冬が終わり暖かい春が訪れた時、目一杯、出来るだけ人と人が接触して「密」になれる企画があったら、それを可能にする空間があったら、パンデミックに負けない精神性を学び、人間的に成長してゆくきっかけにもなるのではないのでしょうか？

図書館がその様な場になったらどんなに素晴らしいでしょう・・・



# 「新しい県立図書館」アイデアコンペ 資料

タイトル：「デジタル知識を身に着ける」を強かにサポート

コンセプト： パソコン初心者から、ホワイトハッカーまで利用する図書館

特徴： 初心者から、上級者まで利用者が必要とするデジタル知識を提供できる環境を持つ。

1. デジタル技術に関する書籍の充実
  - ・最新のプログラム開発のための資料
  - ・国内だけでなく、海外の資料もそろえる
  - ・つねに最新のものをそろえる
2. まずは使ってみることができるハードを準備する
  - ・初期設定から利用できるハードを貸し出す
  - ・おすすめの入門書とセットでパソコンを容易にする
  - ・ネットワーク環境の準備をする
3. ワークショップの開催/ビデオ閲覧環境の整備
  - ・超初心者向けのワークショップ
  - ・ワークショップをビデオ撮影し、それを閲覧できる環境をつくる
  - ・すくない回数のワークショップでも、たくさんの人へ情報を提供できるようにする

提案理由：

今後、市民生活のなかでデジタルに関する知識は非常に重要になってくる。そのなかで、図書館も市民生活の向上に対して、貢献する必要が生まれている。図書館の基本的な役割として、知識、情報の提供があると考えれば、これからの図書館に求められるのは、デジタルに対する知識を提供する環境だと思う。

まずは、書籍としてのデジタル技術、特にプログラムに関する知識を提供する書籍の充実が求められる。パソコン、プログラム関係の書籍は変化がはやく確保のテンポアップが必要だと思う。

また、書籍だけではデジタル関連の知識は身に着けにくく、また初心者にパソコンはとっつきにくいものとなっている。そのためまずは、触ってみる、体験してみるという、超初心者向けの環境を提供する。

初心者向けから、より高度な知識をもつ人にも役立つことを目指した書籍、ワークショップを設定し、市民全体のデジタル知識の提供拠点となることをめざす。

新図書館で行う意義：

今後、情報の入手は本だけではなく、多様な手段の利用が見込まれる。まずは、県立図書館で、市民の多様な利用を実現してゆくことが必要だとおもう。



パソコン初心者



ワークショップ



ホワイトハッカー

## 1. 豊富な専門書



## 2. 気楽に利用可能なパソコン



## 3. ワークショップ



## 「新しい県立図書館」アイデアコンペ 資料

タイトル： 図書館は自学自習の最後の砦

コンセプト： 受験生は、塾に行かずに、図書館に行こう

- 特徴：
1. 受験生に必要な、種類と数量の参考書を保持する。
    - ・多少長期に渡って借りても問題のない冊数をそろえる。
    - ・毎年、新規に発行される最新の参考書をそろえる。
    - ・簡単なものから、難しいものまでレベルを幅広くそろえる。
  2. 学習スペースと利用時間の確保
    - ・十分な数の、机スペースが確保されていること
    - ・利用時間が、ある程度幅広いこと。早朝利用、夜間の利用ができること
  3. アドバイスAIの設置
    - ・勉強そのものではなく、学習の仕方を教えるデータベースを設置する
    - ・FAQ（よくある質問）形式で、学習者に対してアドバイスをするAI
      - Q. 数学の勉強のポイントはなに？
      - Q. 看護師になるには、どんな勉強をすればいいの？
    - ・アドバイス内容は、市民ボランティアが考え、作成する仕組みをもつ。

提案理由：

「学ぶチャンスは、平等に与えられる。」「本こそが、万人の師匠となりえる。」  
個人的な理由で、金銭的に十分ではなくとも、学ぶやる気のある学生には  
成長のチャンスを与えたい。やる気さえあれば、十分学習レベルをアップしてゆける  
環境を作りたい。

現代社会では、ICTを使うことで、知識の集積を容易におこなうことができるようになった。そこで、学習方法を指導するデータベースを構築し、自分自身にあった学習方法を知ることができる環境を合わせて提供する。学習方法は、一個人が作成するのでは、市民ボランティアが持ち寄ることで、種々の疑問に答えられるシステムを構築できるのではないかと。

新図書館で行う意義：

取り揃える資料の規模、内容についてのどのレベルが必要なのかが不明確なので  
まずは、一つの図書館がトライしてみる必要がある。

アドバイスAIのしくみは、一つの図書館だけではなく、広く県、ひいては国全体  
でも利用を展開できる可能性がある。まずは、県立図書館が試験的にトライして  
見る価値がある。

### 1. 豊富な参考書



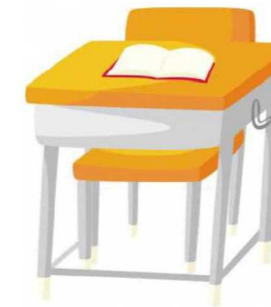
お金なし！  
勉強部屋なし！  
講師なし！

やる気あり！

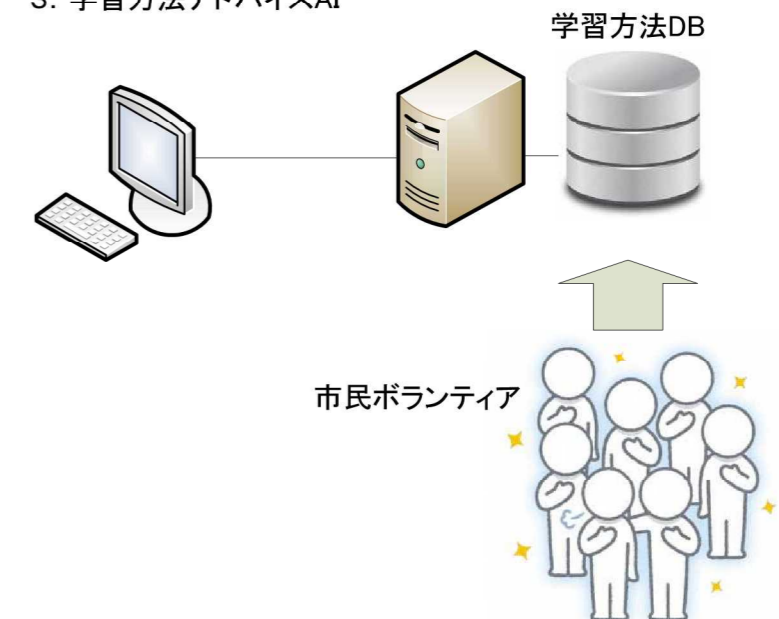
図書館があれば大丈夫！



### 2. 十分な学習スペース



### 3. 学習方法アドバイスAI



# さんぽみち図書館



## ○ さんぽみち図書館

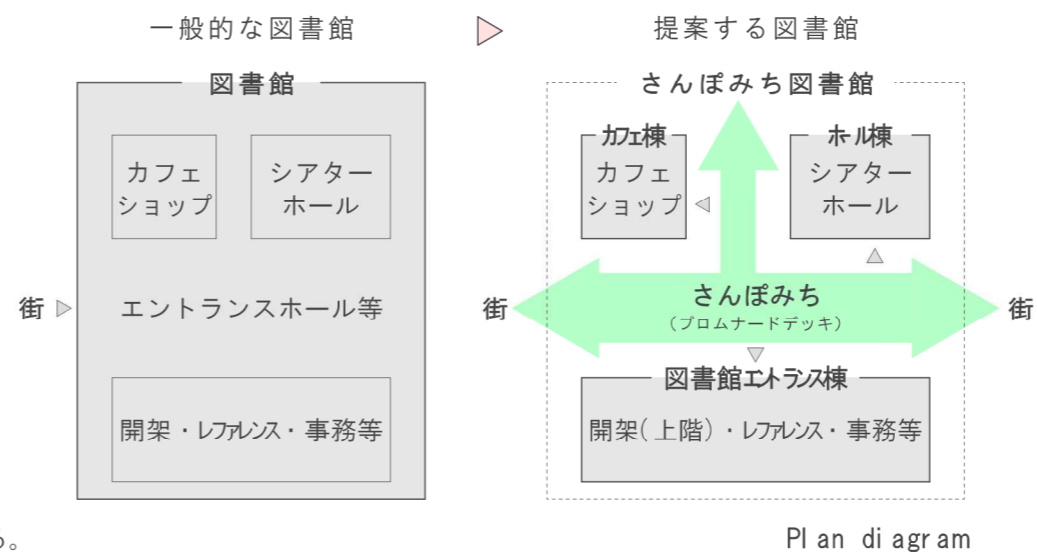
『さんぽみち図書館』は、主たる機能として「県立図書館」の機能に加えて、「さんぽみち」の機能を併せ持つ図書館である。

今後100年にわたり活用されてゆく中で、情報に関わる環境が変化する等、図書館はその変化に対応する必要性が生じることが考えられる。

また、新型コロナのような想定しえない様々な社会状況が生じるかもしれない。このようなあらゆる状況下においても、駅前という立地を最大限活かしながら利用者の方々に愛着を持って活用して頂くために、多くの世代にとって“日常的”で“持続的”な“散歩”という行動に着目し、「さんぽみち（プロムナードデッキ）」を有する図書館を提案する。

この「さんぽみち（プロムナードデッキ）」を有することで、この図書館は県立図書館として求められる情報収集・図書閲覧や交流等を目的とする人にとっての利用だけでなく、公園のように“街ブラ・散歩”をする人にとっても“日常的”で“持続的”に利用される図書館となり、今後100年にわたり地域に根付いて活用されるのではないだろうか。

また、「さんぽみち（プロムナードデッキ）」は屋外のため、新型コロナ等の感染症に対しても密閉等のリスクを低減できるだけでなく、健康的な図書館として利用者の生活に寄り添うことができるものとする。



建築の構成としては左図で示すように、駅前という立地を活かした街と繋がる「さんぽみち（プロムナードデッキ）」を中央に配置し、そこに沿うようにこれまで一般的に図書館の内部にあったシアターホール等の機能をそれぞれ独立した「ホール棟」「図書館エントランス棟」「カフェ棟」として分散して配置する。

図書館のメインボリュームは、吹抜け等を活用して「さんぽみち（プロムナードデッキ）」を快適で開放的にしながら上部に乗せる形で配置する。（上図断面パース参照）



## 様々な人々が集まる 山のような図書館

駅前空間にふさわしい、周囲に開かれた公園や広場としての側面をあわせもつ「求心性のある山のような図書館」を提案します。

